



経産省前テントひろばニュース

テント強制撤去から 3091 日原発再稼働糾弾!

第307号

編集・発行

テントひろば運営委員会

3.11 脱原発・経産省前大集会
 ～放射能汚染水を海に流すな、福島事故から
 15年目、原発回帰なんて許さない～
3月11日(火)14時～ 経済産業省本館前へ

3.11 フクシマ原発事故から 14年が経過しようとしている。福島原発事故は未だ終わっていないどころか、原発回帰が公然と主張されている。

私たちは、14年前の福島事故を一時たりとも忘れず、経産省前での抗議の座り込みを通して脱原発を強く訴え続けてきた。一昨年、パレスチナの地では新たにイスラエルによって引き起こされたガザ戦争が15か月を経過して漸く6週間の停戦に至った。既にガザでは4万人を超える人たちの命が奪われている。

一方、昨年正月には日本でも能登半島地震が発生した。家を失い家族を失った多くの被災者は、一年を経過した今も苦闘している。私たちは原発反対・戦争反対の声を大きくし、15年目の闘いの輪を広げていこうと考える。

～放射能汚染水を海に流すな

福島事故から15年目、原発回帰なんて許さない～

日時:2024年3月11日(月) 14時～16時

場所:経産省本館前の歩道

主催:経産省前テントひろば

発言者 (いずれも予定です)

- ゲスト発言 福島みずほ議員、阿部とも子議員、佐原若子議員、鎌田慧さん、落合恵子さん
- メイン発言 テントひろば (各曜日担当の座り込み者)、テント弁護団、テント支援者など
- 音楽 朴保さん、守屋真美さん

函館市による大間原発建設差し止め裁判

第33回口頭弁論

2月26日15時～東京地裁103号法廷
 裁判終了後、「大間原発裁判報告と講演会」が当日16時30分から開催されます。

会場は、衆議院第一議員会館の集会室です。
 16時から入館できます。会館入口でスタッフから入館証を受け取ってください。

- 1・弁護団報告: 甫守一樹弁護士
 地震列島日本における原発の法規制
 …建設は許されない大間原発と日本全国の原発
- 2・講演: おしどりマコ・ケンさん(芸人/記者)
 知りたがりの原発事故13年の取材
 知ること、調べることは、自分と社会と未来を守る防災!
- 3・現地報告 18時には終わる予定です。

主催:大間原発反対関東の会事務局(イロハネット)
 賛同:経産省前テントひろば

書籍紹介 編著者 安藤 聡彦、西館 崇、川尻 剛士
「核開発地域に生きる 下北半島からの問いかけ」

新刊 2024/12/20 出版 同時代社 定価 2,530円(税込)
 半世紀以上に及ぶ戦後日本の〈核開発〉。そこに否応なく巻き込まれてきた下北半島でそれぞれに格闘してきた10名の〈生きざま〉と〈語り〉を丁寧に紐解き、この〈歴史と今〉を多角的に照射した稀有な好著! 寺西俊一 一橋大学名誉教授/環境経済学
 福島原発事故による放射能汚染のために、二度と戻れない故郷を作ってしまった私たちは、今後何を選択すべきなのか。本書の核開発に翻弄された歴史を学びとして、次世代への責任をはたさなければならない。 上原公子 脱原発をめざす首長会議 前事務局長

「核半島」とも呼ばれる下北半島——そこで呼吸をし、暮らしを営み、ものを考え、仕事や活動をしてきた普通の人々は何を思うのか。3.11後の2011年7月から下北半島に入り、現地で暮らす人々の証言を記録し、調査を重ねた執念の共同研究の成果。下北半島における核開発の歩みをふりかえるとき、今を生きる私たちに問いかける問題とは何か?

〈本書は、一九六〇年代から現在までの間に下北半島を生きた一〇人の人々の物語を記述している。その一〇人は、著名な政治家とか反対運動のリーダーといった人々ではない。教師、歯科技工士、郵便局員、消防士、自営業者、それに市民活動家といった、文字どおり核開発に揺れる下北半島で呼吸をし、暮らしを営み、ものを考え、仕事や活動をしてきた普通の人々である。かれらひとりひとりの物語を通して下北半島における核開発の歩みをふりかえるとともに、それらの物語から今を生きる私たちに投げかけられる問いかけ—そこに通底しているのは「あなたは私たちのことを忘れようとしているのではありませんか」という声だろう—に耳をすませたい。〔序章〕

青空川柳句会

一月26日(日)12時より脱原発青空テント川柳句会が開催されました。

お天気は良かったのですが、風が強く終日バナーやのぼり旗が風にはためいていました。今回の川柳句会参加者は6名。席題は「戦後80年」と「巨」、14時30分投句締め切り、14時45分より入選者の発表、披講となりました。

選者の乱鬼龍さんより入選句が読み上げられ、「原発は未完の技術」みかん、「自らの身を削って80年」削り節、「原発はイカん」いかの缶詰、川柳マジソン、沖縄辺野古・大浦湾絵葉書、雑誌「季節」ほか、数々の賞品が入選者へ手渡されました。入選句は以下の通りです。(S・E)

「戦後80年」

・アメリカにかじつてははや80年 - 芒野

秀句

- ・生きぬけと無言の支え八十年 - 海の民
- ・戦前に「戦後80年」押し戻し原子力ガリレオ
- ・被爆者はあの日のことを忘れない - 水蓮仏
- ・人はいさ心も知らずと歌人詠み - ぶ64
- ・9条があつてこそその八十年 - 幸柳

「巨」

特選

・原子力という名の巨艦死出の旅 - ぶ64

秀句

- ・大浦湾 巨大ジゴゴン出てきてよ - 幸柳
- ・検察は巨悪を放置ザコ処罰 - 水蓮仏
- ・また来るぞ 30m巨大波 - 原子力ガリレオ
- ・再開発街を殺してタワマン化 - 芒野
- ・トランプ 富豪政治を金で買い - 芒野

次回の脱原発青空テントひろば川柳句会は2月23日(日)12時より開催いたします。次々回は3月23日(日)12時より開催、座り込み終了後お花見の予定です。是非ご参加ください。

柄谷行人著「世界史の構造」を読んで

正月に「世界史の構造」(岩波現代文庫)を読んだ。

この本は、2010年に岩波書店より刊行されたもので、2015年1月に岩波現代文庫として改版出版されたものだ。

その第4部「現在と未来」に、「第2章 世界共和国へ」というタイトルが付けられた文章があった。

ここで柄谷行人は、1として「資本への対抗運動」、2として「国家への対抗運動」の必要性を説いている。さらに3は「カントの『永遠平和』」、4は「カントとヘーゲル」、5で「贈与による永遠平和」、最後に「世界システムとしての諸国家連邦」という文章が続く。

そこで、原発事故以来、原子力発電と電力会社(資本)との関係、そして日本という国家と原子力政策について、いろいろと考えてきた私も、本書で彼が結論的に述べている「世界システムとしての諸国家連邦」ということの意味を考えることにした。読んでいくうちに、2011年の原発事故以前の15年も前からカントの「永遠平和のために」を参照しながら、柄谷行人が国家と資本に対抗しつつ、世界システムとしての「諸国家連邦」を提起することで、国際組織としての国際連合の再建を提案していたのだと気づいた。

一昨年10月に始まったガザ戦争では、いまアメリカの新しい(復活した)トランプ大統領の当選を受けて、イスラエル首相のネタニヤフが漸く40日間の停戦に応じて、それが戦争の収束に向かおうとしているように見える。一方で、我が国の原発政策は「日米同盟」の下で脱原発の選択をなしえないまま、電力資本の意向を受けた「第7次エネルギー基本計画」では昨年(2024年)の被団協に対して授与されたノーベル平和賞の意味を考えると、潜在的核保有政策を継続しようとしている。本書で柄谷は「国連は人類の大変な犠牲の上に成立したシステムである」として、「国連を新たな世界システムにするためには、各国における国家と資本への(民衆による)対抗運動が不可欠である」という。

これは「各国の変化のみが国連を変える」。それと同時に、逆のこともいえる。「国連の改革こそが、各国の対抗運動の連合を可能にする」からだというのが、彼の主張なのだ。

かつて60年代に語られていた「世界同時革命」は、各国の対抗運動を一齐におこなう蜂起のイメージで語られていた。柄谷にとっては、しかし「それはありえないし、ある必要もない」という。何故か？

「たとえば、一国において革命が起こり、国家の軍事的主権を国連に『贈与』するとしよう。これは『一国革命』である」という。何故ならば、「どんな武力も『贈与の力』に対抗することはできない」、「それは多くの国家の支持を得て、国連の体制を根本的にかえることになるだろう」として、「一国革命」が「世界同時革命」を創りだすからだ、という。

こうした彼の意見は、いま傾聴に値するものだと思う。(E0)

集会・行動予定

- ◆2月12日(水) 12時~13時
原子力規制委員会前抗議行動(毎週水曜)
- ◆2月14日(金) 17時~18時
経産省前抗議集会
主催：経産省前テントひろば 経産省正門前
◎ 経産省前の座り込み行動は、平日:12~16時(月~木)、13~17時(金)、土・日・休日:12~15時◎
- ◆2月21日(金) 18:30~19:45
首相官邸前抗議行動
主催：原発いらない金曜行動実行委員会

≪経産省前テントひろば≫
住所:〒105-0003 港区西新橋1-21-8 新虎ビル2F
・電話:070-6473-1947
・郵便振替口座=00160-3-267170
・口座名義=経済産業省前テントひろば
WEB:<http://tentohiroba.tumblr.com/>
Mail address: tentohiroba@gmail.com